

南小たば風通信 2018

平成30年9月19日(水) 第20号

平成30年度 南小 公開研 5年生授業事後研の記録

今号では、5年生の授業の事後研で話し合われた内容をまとめました。書くことに絞った指導計画の作り方、ピクトグラムの意味について多く意見が出ていました。



5年生 国語 多様な情報を読み取り、自分の考えを深めよう

『世界遺産 白神山地からの提言—意見文を書こう』

◎授業者から

島村先生

- ・資料を引用して意見文を書くことは、初めてだった。
- ・この単元の教材文は、難しいと感じている。初めての難しい言葉の理解や読み取りなどに、多く時間をかけてしまうのではないかという風に考え、不安だった。そこで、子どもたちが授業を受ける時に不安にならないような授業の組み立てにした。
- ・本時では、一人で構成メモを書くのではなく、最初からグループで書かせる事にした。多くの資料を見て、その中から、ベストな資料を選択できるようにさせてあげたいと思った。この後、一人ひとりが意見文を書いていくが、まずは、両方の立場を全員で確認してから、書いていく。



山本先生

- ・「全員が意見文を書けるようにするためにはどうしたらいいのか。」ということを考えて、このような指導計画にした。
- ・教科書は、「読む」「書く」の両方を指導するような単元になっている。「両方を一度に指導するよりは、一単元一領域で、「書く」力を見に付けたほうがよいのではないか。」ということ年度当初の研究のスタートの段階で、確認した。
- ・本時の前には、授業の中で、詳細な読みはせずに、進めてきた。8時間目には、どちらの立場もわかった段階で、友達の意見文のよさを見つけあう活動を進めていく計画にした。
- ・教材を子どもたちが繰り返し「読む」時間については、朝学習の時間を利用した。
- ・基本的な意見文の書き方を全員に理解させ、構成メモを生かして書けるようにしていきたい。

◎参観者から質問

【質問】(江差小学校 木村校長先生)

自分の考えや根拠は、あくまで教科書の中から抜き出したり、選択したりしながら、それをつなぎ合わせて、書くことが完成形になるのでしょうか？

【回答】

教科書の部分から、そのまま使うこともあるが、それ以外のところからも自分の言葉にしていくということをしていけたらいいと考えています。根拠は教科書の中のみです。

◎グループ別協議の内容

<Aグループ>

- 単元の計画作りについて、教室に掲示している単元構成の表がとても見やすかった。文字の大きさをもう少し大きくしたほうがよい。いつでも見られるようにすることが一つの方法ではないか？ノートにも貼ってあるので、子どもたちはいつでも確認できる。
- ピクトグラムについて、馴染みがないが、指導計画におくことで、子どもに見に付けさせたい力のバランスや足りない部分を確認することが出来る。できればカラーが見やすい。今は、まだ、子どもへ提示していないので、子どもたちへの理解も必要になってくる。
- 「書くこと」については、「読めないと書けないのではないか」「読めないと、書くこともぼんやりしてしまうのではないか」「読む力も身につけるためにはどうしたらいいのか」ということが話し合われた。
- 単元の主体的・対話的なことについて、「自分の考え」を書くことは難しい。子どもたちの中にも混乱したのではないかと話した。という話がでた。
- T1, T2 の役割ができていた。



<Bグループ>

- 指導計画については、見通しがもてるという意見が出ていた。ピクトグラムについては、意見が出ていない。
- 個の考えの必要性は大事ではないか？ 最初に個の考えがないと、話し合いの深まりや子どもの変容がわからないのではないかと意見が出された。個の考えをどの場面で見取ればいいのかということが話題に出た。
- 低位の子たちにも出来てほしいので、グループの時の対話的な学び方の場面の効果的な設定を考えていかなければならない。

<Cグループ>

- 時間の配分はよいが、タイマーで残りの時間を知らせると効果的。
- 個の考えを出させる時間の保障をしたほうが良い。
- グループは、3人ずつになっていたが、3人分の意見が聞けなかったのが、残念。
- 「考え」は、「人間が関りながら自然を守る」立場で決まっているので、その根拠を見つける時間を多く作ることが大切だったように思う。例えば、「考え」のところは、教師側でつくっておいても良い。
- 全体交流のところは、子どもたちで分類し、全体で出たことをもう一度グループに戻してあげると、対話的な学びになるのではないかと考える。
- ピクトグラムについては、子どもと一緒につくってみると、子どもたちの理解が進むのではないかと？
- 単元計画については、よいことはわかっているが、紙におこす事に時間がかかる。
- TTの先生がいてくれると助かる。
- パソコンからすぐに印刷できるように、拡大機がほしいです。



<Dグループ>

- ピクトグラムは、どのようなものか？子どもたちが今後どのように活用していくといいのか、これからの課題がある。
- 今後の書く領域の単元につなげ、広げていくためにも計画的に進められると良いと思う。
- 対話的な場面が足りなかったように感じた。
- 全体交流の場面で、意見の種類を子どもたちに分類させることも出来る。子どもたちの言葉を拾いながら、キーワードを見つけながら進めていくことも一つの方法ではないか。
- 構成メモの文字が小さくて、黒板に貼ったときには、少し見にくかったかもしれない。改善できたらよいと思う。
- 読み取りが出来ていないことがあったように感じるので、今後の課題だと感じた。